

# 産業建設委員会

## 1 上下水道事業の経営について

- ①民間手法などの可能性をさらに検討し、経費削減に努めること。
- ②水の大切さと必要性、上下水道事業の経営状況等について広く市民への周知に努めること。

## 2 水素社会について

- ①水素エネルギーの普及に向け継続した啓発を強化すること。また、燃料電池自動車を身近に感じてもらえるようにカーシェアリングの実施を検討すること。
- ②水素ステーションの活用について一般開放も検討すること。
- ③鈴鹿市水素社会ロードマップを再度検証し、現実にあった計画にするよう努めること。

## 3 地産地消(乾杯条例)について

- ①農水産物はもとより鈴鹿の各種名産物を地産地消の対象品とし、産業政策・観光政策とも連動して取り組むこと。
- ②鈴鹿産の農産物、水産物、工業製品及び伝統工芸品等の周知、PRができるようなキャッチフレーズを活かしたパンフレットやチラシの作成を検討すること。
- ③鈴鹿産のお酒・お茶などによる乾杯を通して地産地消の意識向上が図られるようにすること。

## 第9回議会報告会の概要

平成29年10月29日(日)

平成29年9月定例会の内容を中心とした議会報告会を、市内5会場に分かれて開催しました。

第1部では9月定例会での審議内容について、第2部では公共施設マネジメントについてをテーマとした報告と意見広聴を実施しました。

報告会終了後のアンケートでは、「参加者から多くの質問があり、議会に対する期待の高さを感じた」、「質問に対して丁寧に答えていただいたのがよかった」、「公共施設の維持管理に多額な費用がかかることが分かった」、などの評価をいただきました。

その一方で、「地元に関する議題を取り入れるべきではないか」、「もう少し分かりやすい資料作りはできないのか」といったご指摘もいただきました。

いただいたご意見は、今後の議会広報・広聴の参考とさせていただきます、市議会をより身近に感じていただけるよう取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

※議会報告会の記録は、議会ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

午前の部 (10:00～)	参加者
国府公民館	22人
白子地区市民センター	12人
若松公民館	25人

夜の部 (19:00～)	参加者
神戸コミュニティセンター	13人
稲生公民館	11人

